

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2290500194		
法人名	有限会社 中島介護サービスセンター		
事業所名	グループホーム すまいる青葉 (1F)		
所在地	静岡県熱海市青葉町26番37号		
自己評価作成日	令和6年12月30日	評価結果市町村受理日	令和7年2月13日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 https://www.wam.go.jp/wamapp1/nyoka/003nyoka/nyokekka_nst1/auu-en?0penAgent&.IN0=2290500194&SVC=0001096&R.IN=00

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構 静岡評価調査室		
所在地	静岡市葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A		
訪問調査日	令和6年1月16日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

家庭的な雰囲気づくりを大切にしています。季節ごとの行事では利用者様の要望を聞いた行事食などを提供するようにしています。地域の方と交流もできるように町内のイベントにも参加するようにしています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

昨年3月に開所し9月に満床になり、「さあ、これから」と弾みのある事業所です。運営推進会議に出席くださる青葉町町内会長からは、「災害時は町内の消防団が駆けつけるので安心して」とか「水道設備が壊れたら連絡して」「災害備蓄が足りなくなったら町内で協力するよ」と、応援団長と見紛うばかりの温かな声が届いています。このようなエールを受け、開設間もないのに「今月はどンドン焼きがあるから利用者とお出掛けの予定です」と、地域に溶け込んだ活動が叶っているほか、天気の良い日は花の好きな人は水やりにも張り切り、セットされた椅子とテーブルでお茶を飲みながら日光浴に親しむ姿が日常に溶け込んでいます

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	各階の事務所に理念を提示し、「一緒に楽しく笑顔で」一日を過ごすことが出来るよう心掛けています。	理念は各フロアの事務所に掲示するとともに会議でも話し合い、開所間もない事業所としては意識の共有を図る軸としています。特に体操をはじめレクリエーションの場では理念の実践が進むと考え、管理者からも勧奨しています	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	感染防止対策を行ったうえで、来宮神社の天狗の慰問に来ていただきました。訪問理美容も来ていただいています。	開所時から町内とは円満で「忙しいだろうから、いいんだよ」と温かな言葉をかけてもらってはいるものの地域清掃へ参加するほか、事業所前の清掃も定期的に続けています。隣家からは春の花や紫陽花が届き、祭りでは天狗の慰問がありました	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	利用者と一緒に選挙へ行き、町内のイベントに参加し、地域の方とコミュニケーションを深め、認知症の理解に努めています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	サービス内容、事故報告についてのご意見・評価をいただきサービス向上につなげるようにしています。	法人内に他にも事業所があることもあって、運営推進会議が適切に執りおこなわれています。メンバーからは、投薬や転倒に係るリスクマネジメントといった事柄に係る提案あり、実践したところ効果があって助けられています	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市の担当者の方には相談等して情報交換や連携は十分とれていると思います。市や町内のイベントにも参加できるよう心掛けています。	新規開設にあたっては市役所から大変親身な対応が得られ、心強いスタートを切ることが出来ており、県からのものも含み行政メールはこまめにチェックしています。また生活保護受給者が2名いることから介護保険とは別の窓口とのやりとりも日常に在ります	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	ヒヤリハット、事故報告の内容を話し合い職員間での情報共有を行い身体拘束ゼロの意識を持って取り組んでいます。	身体拘束ゼロ対策マニュアル、高齢者虐待防止マニュアルを備えており、「身体拘束廃止委員会」を四半期毎に開催のうえ、職員には議事録を供覧して認識を共有する仕組みをつくっています	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待の資料を使った勉強会をし職員で意見交換を行い虐待防止に努めています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	後見人制度などは研修を通して職員が学ぶ機会を設けられるように努めています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居の際しっかり時間かけて説明をし、ご家族・ご本人が納得していただいた上、同意が得られるようにしています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入所者の意見・要望にはしっかり耳を傾け対応しています。日常の様子、会話からも汲み取るようにしています。職員で話し合い、改善するようにしています。	毎月「スマイル青葉通信」を発行しています。イベント写真を載せるほか職員が手書きのコメントやデコレーションに励むことで家族から反響があり、また外国人職員の挨拶がよいことも好評です	家族アンケートの回収率が低いいため、次回は意見が集まる工夫があることを期待します
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員間で話し合い、問題点を改善するようにしています。管理者は職員の意見や話を聞くようにしています。	不定期なもの職員と管理者の面談が重ねられています。意見には速やかな検討があり、浴室の滑り止めマット購入のような事から、早番の勤務開始時間を交通状況を鑑み30分後ろにもっていくといったオペレーションに及んで変更にあっています	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員が働きやすい環境を作るようにしています。資格習得支援制度もあるのでやりがい・向上心を持って働けるよう支援しています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	施設内外の研修に参加し成長できるよう取り組んでいます。色々な研修に参加できるよう情報提供しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	会社全体で行う研修会や勉強会に参加する機会を増やしサービスの質の向上を務めています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人の要望や不安な事に耳を傾け対応できるように心掛けています。信頼関係が築けるよう努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の困っていること、不安や要望を聞き取り安心してサービスを受けていただけるように努めています。面会時には様子などを伝えています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご家族、ご本人に希望を確認し必要なサービスを利用できるように努めています。居宅療養管理指導を取り入れています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入所者一人一人の状態に合わせて出来る事を職員と一緒にしています。コミュニケーションを大切にしよう努めています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	月に一度の通信で近況報告をしています。体調に変化があった際はその日のうちにご家族へ連絡、報告をしています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	感染予防対策を行った上でご家族・知人友人などの面会を行い馴染みの方との関係を続けられるように支援しています。ご家族と外食、外泊される方もいます。	お腹の調子が悪いときは連絡すると家族がリングを届けてくださり、自宅での対応方法を継続しています。他にも煮込みうどんしか食べないという利用者には家族が持ち込んでいて、朝食以外はうどんを提供されています	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入所者同士の関係が築けるよう職員が見守り、関わり、支えられるように支援しています。洗濯物たたみなど一緒に言い関わりが持てる環境作りをしています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用が終了してもご家族とご本人からの相談があればアドバイスやフォローができるように努めています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入所者と関わり得た情報は記録に残すようにしています。ご家族とご本人の意向や思いを把握できるように努めています。	フェイスシートにおける趣味や嗜好の項目を厚めにしていることから細かい点まで確認できていて、利用者が欲しいものもリスト化しています。またレクリエーションではお題を設け、それが食べ物の場合は食事レクにつなげたり、一緒に作っています	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族や関係者から入所前の生活習慣などの話を聞き取り、ご本人の意向・要望に添えるよう努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日頃から入所者の状態変化を確認し、職員間で情報共有しながら意見交換をおこなっています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご家族・ご本人の意向や要望を聞き、職員間で意見交換を行い検討した結果を介護計画の見直しに反映し作成しています。	家族の意向は介護支援専門員が電話で聞き取り、利用者の声は介護職員が介護支援専門員に伝え、要望が介護計画書に反映されています。また作成後は日報に挟み、職員の実践に漏れないように図られています	年に1回程度はサービス担当者会議に家族を誘えるような体制があると、なお良いと思います
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	入所者の状態、変化については個別記録や日報に記載して情報共有をしています。口頭での申し送りもしています。介護計画の見直しが必要な時は話し合い、検討して活かせるようにしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	入所者やご家族の状況を把握して、事業所内外のサービスの調整を行い病院への付き添いなども柔軟に支援できるように取り組んでいます。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	消防・警察・市役所・地域包括支援センター・社会福祉協議会・ボランティア等に必要最低限の協力をいただいています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医により月2回(2週間に1回)の訪問診療を行っています。ご家族、ご本人の希望でかかりつけ医や専門医での医療は継続して受診しています。	18名全員が訪問診療をおこなう協力医に変更しています。月に2回の受診には日勤職員が立ち会い、往診記録に状況を残しており、その後職員間で供覧しています。口腔ケアで往診歯科が週1回、同じく訪問看護も週1回来訪しています	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	24時間訪問看護との緊急連絡体制を整え、週1回の訪問を実施しています。訪問の際入所者の健康状態の報告をし情報を共有しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院した際はご家族と共に医療機関の相談員と連絡を取り合い情報交換をしています。可能であれば面会時に医師や看護師から話を伺い、早期退院支援に努めています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時にご家族、ご本人に重度化や終末期に向けた方針の確認をしています。入所者の状態変化があるごとにご家族や医師と話し合いをしています。必要時には終末期の方針をご本人、ご家族と再確認しています。	看取りに取組む事業所であることは契約時に家族に説明し、意向も確認しています。開設したばかりで未だケース例はありませんが、転倒があつて電話を入れると速やかに病院を手配してくれる真摯な協力医は、看取りにも「協力するよ」と言ってくださっています	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	利用者の急変や事故発生時には職員が初期対応の応急手当を行うようにし、隣接する訪問看護ステーションと連携をとるようにしています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防災避難訓練を消防署の協力のもと実施しています。町内、市の防災訓練にも参加できるように努めていきます。	開所にあたっては消防署が設備の確認に来所しているほか、町内会長は元消防署勤務だったこともあって「いつでも立ち会おうよ」と言ってくださっています。年2回の訓練のうち、11月は火災設定で実施、来る3月には夜間設定の予定です	

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	状況に応じた声掛けや対応を行うようにしています。何かあった際はその都度職員で話し合いをしています。	接遇委員会では接遇五原則についての学習の場を設け、特に言葉遣いや声掛けに重点を置いています。外国人の職員にはトイレの誘導の声掛けや、入室時ノックなど入職1か月間は管理者が同伴して様子を確認するように努めています	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中で入所者が話しやすい関係性を築いたり、雰囲気を作るよう心掛けています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入所者が穏やかに生活ができるよう支援しています。利用者同士の交流も大切にしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	2か月に1回訪問理美容に来ていただいています。ご本人、ご家族の希望で行きつけの美容院に行かれる方もいます。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	外食レクができていないため入所者に食べたいものアンケートを聞き取り、ラーメン・甘いパンなどのリクエストがあり提供し喜ばれています。	刻み食が4名となっておりますが、食の楽しみは大きいとしてプレートを使った食事レクや刺身の提供もおこなうなど工夫を図っています。また正月のお節料理、敬老会やクリスマスの行事食はいつもと雰囲気が違う食事だと利用者がとても喜んでくれるとのこと	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量・水分摂取量は毎日記録に残しています。食形態も入所者一人ひとりに合わせて提供しています。水分量が少ない方には声掛けをしたり、時間をあけて提供したり工夫をしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に口腔ケアを行っています。自己にてできる方は見守り、できない方は介助にて行っています。毎週火曜日に歯科医師と口腔衛生士が訪問歯科で来ていただいています。その際相談もできるようにしています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表で排泄パターンを把握し、トイレの声掛けを行っています。排便がない時は医師の指示のもと下剤を服用し便秘にならないようにしています。訪問看護師にも相談しながら行っています。	心不全で尿量を測る為におむつにしている人が1名います。自力歩行でトイレへ向かう人は9名、誘導が必要な人は8名、併せて平均介護度も2.3と、総じて壮健な状況にありますが、パットなど排せつ用品は状態にあったものにするべく、都度見直しを図っています	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分量の把握をし水分不足にならないよう気を付けています。あまり飲みたがらない入所者にはスポーツドリンクなど飲み物を変えて飲んでいただくようにしています。フルーツなども定期的に提供するようにしています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴は週2回と決まった曜日にして習慣になるようにしています。26日をお風呂の日とし入浴剤を入れ気分転換を図れるようにしています。温泉観光地の入浴剤で昔の思い出話をしてくれています。	週2回を目安として、月の26日を「風呂の日」と銘打って「日本の名湯(入浴剤)」で楽しんでいます。好みのシャンプーを使う人が1名いますが、他は共用品です。着脱のとき軽度でも状態に変化があると管理者に報告が届き、先ずは記録を残しています	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中に体を動かしたりして夜安眠できるようにしています。その日の温度によって部屋の室温調整をしています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の目的・副作用・用法・容量は職員がすぐに閲覧し確認できるようにしています。薬の変更時には薬局が詳しく説明をしてくれています。分からないことがあれば薬剤師に連絡をし確認するようにしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご本人、ご家族から希望を聞き、一人ひとりに合わせた支援を行えるよう努めています。週刊誌を希望の方にはご家族から送っていただいたり、定期的に購入をしています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	普段は外の花に水やりをしたり、外気浴をしたり屋外に出れるよう支援しています。ご家族やご友人の方の協力もあり定期的に外食されたり買い物に行かれたりしています。	定期的に家族が外食やドライブに連れ出してくださる利用者が1名います。町内のどんぶり焼きでは餅なしの雑煮と焼き鳥を提供してもらえ、出掛けた4名の利用者は「来年もまた来たい」と喜んでそうです	外出支援の数を増やし、定着させるためにも年間計画を立案することを期待します

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現金は事務所で預からせていただいています。希望時、必要時にはすぐに使えるようにしています。不安になってしまう方にはお財布に少し入れて持っています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族へ電話したいという方には対応をしています。ご友人へお手紙を書かれる方もいるので、その時は入所者ご本人に便箋を選んでもらい対応しています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間は不快な思いをさせないよう朝・夕と2回掃除を行い清潔に過ごせるようにしています。	5類へと移行されたものの、衛生管理は続けています。居室は朝から開け、朝・昼・夜と1日3回、共用空間は10分程換気しています。アルコール消毒は手すり、トイレのほか床にも及び、清掃は朝番と遅番に其々役割が位置付けられていて念入りです	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	入所者同士の相性も考慮して決まった席を確保しています。必要に応じて席替えも行っています。居心地のいい環境作りを心掛けています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時にご家族と一緒にベッドや家具の配置をしています。使い慣れた物やアルバムや写真も持参していただいています。何かあればその都度家具の配置などは変更しています。	居室には洋服ダンス、テレビ、テレビ台、ソファ、冷蔵庫や額縁の絵、お気に入りの椅子など様々な持ち込みがあり、その人らしさを感じられます。職員が整理にあたってタンスの中を都度散らかしてしまう為、家族が整頓に訪れるという利用者もいます	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	環境整備に気をつけできる限り自立した生活が送れるよう支援しています。		

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2290500194		
法人名	有限会社 中島介護サービスセンター		
事業所名	グループホーム すまいる青葉 (2F)		
所在地	静岡県熱海市青葉町26番37号		
自己評価作成日	令和6年12月30日	評価結果市町村受理日	令和7年2月13日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.wam.go.jp/wamapp1/hvoka/003hvoka/hvokekka_nsf/aOpen?OpenAgent&JN0=2290500194&SVC=0001096&JN=00
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構 静岡評価調査室		
所在地	静岡市葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A		
訪問調査日	令和6年1月16日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

家庭的な雰囲気づくりを大切にしています。季節ごとの行事では利用者様の要望を聞いた行事食などを提供するようにしています。地域の方と交流もできるように町内のイベントにも参加するようにしています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

昨年3月に開所し9月に満床になり、「さあ、これから」と弾みのある事業所です。運営推進会議に出席くださる青葉町町内会長からは、「災害時は町内の消防団が駆けつけるので安心して」とか「水道設備が壊れたら連絡して」「災害備蓄が足りなくなったら町内で協力するよ」と、応援団長と見紛うばかりの温かな声が届いています。このようなエールを受け、開設間もないのに「今月はどンドン焼きがあるから利用者とお出掛けの予定です」と、地域に溶け込んだ活動が叶っているほか、天気の良い日は花の好きな人は水やりにも張り切り、セットされた椅子とテーブルでお茶を飲みながら日光浴に親しむ姿が日常に溶け込んでいます

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	各階の事務所に理念を提示し、「一緒に楽しく笑顔で」一日を過ごすことが出来るよう心掛けています。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	感染防止対策を行ったうえで、来宮神社の天狗の慰問に来ていただきました。 訪問理美容も来ていただいています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	利用者と一緒に選挙へ行き、町内のイベントに参加し、地域の方とコミュニケーションを深め、認知症の理解に努めています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	サービス内容、事故報告についてのご意見・評価をいただきサービス向上につなげるようにしています。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市の担当者の方には相談等して情報交換や連携は十分とれていると思います。市や町内のイベントにも参加できるよう心掛けています。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	ヒヤリハット、事故報告の内容を話し合い職員間での情報共有を行い身体拘束ゼロの意識を持って取り組んでいます。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待の資料を使った勉強会をし職員で意見交換を行い虐待防止に努めています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	後見人制度などは研修を通して職員が学ぶ機会を設けられるように努めています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居の際しっかり時間かけて説明をし、ご家族・ご本人が納得していただいた上、同意が得られるようにしています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入所者の意見・要望にはしっかり耳を傾け対応しています。日常の様子、会話からも汲み取るようにしています。職員で話し合い、改善するようにしています。		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員間で話し合い、問題点を改善するようにしています。管理者は職員の意見や話を聞くようにしています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員が働きやすい環境を作るようにしています。資格習得支援制度もあるのでやりがい・向上心を持って働けるよう支援しています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	施設内外の研修に参加し成長できるよう取り組んでいます。色々な研修に参加できるように情報提供しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	会社全体で行う研修会や勉強会に参加する機会を増やしサービスの質の向上を務めています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人の要望や不安な事に耳を傾け対応できるように心掛けています。信頼関係が築けるよう努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の困っていること、不安や要望を聞き取り安心してサービスを受けていただけるように努めています。面会時には様子などを伝えています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご家族、ご本人に希望を確認し必要なサービスを利用できるように努めています。居宅療養管理指導を取り入れています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入所者一人一人の状態に合わせて出来る事を職員と一緒にしています。コミュニケーションを大切にするよう努めています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	月に一度の通信で近況報告をしています。体調に変化があった際はその日のうちにご家族へ連絡、報告をしています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	感染予防対策を行った上でご家族・知人友人などの面会を行い馴染みの方との関係を続けられるように支援しています。ご家族と外食、外泊される方もいます。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入所者同士の関係が築けるよう職員が見守り、関わり、支えられるように支援しています。洗濯物たたみなど一緒に行い関わりが持てる環境作りをしています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用が終了してもご家族とご本人からの相談があればアドバイスやフォローができるように努めています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入所者と関わり得た情報は記録に残すようにしています。ご家族とご本人の意向や思いを把握できるように努めています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族や関係者から入所前の生活習慣などの話を聞き取り、ご本人の意向・要望に添えるよう努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日頃から入所者の状態変化を確認し、職員間で情報共有しながら意見交換をおこなっています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご家族・ご本人の意向や要望を聞き、職員間で意見交換を行い検討した結果を介護計画の見直しに反映し作成しています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	入所者の状態、変化については個別記録や日報に記載して情報共有をしています。口頭での申し送りもしています。介護計画の見直しが必要な時は話し合い、検討して活かせるようにしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	入所者やご家族の状況を把握して、事業所内外のサービスの調整を行い病院への付き添いなども柔軟に支援できるように取り組んでいます。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	消防・警察・市役所・地域包括支援センター・社会福祉協議会・ボランティア等に必要最低限の協力をいただいています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医により月2回(2週間に1回)の訪問診療を行っています。ご家族、ご本人の希望でかかりつけ医や専門医での医療は継続して受診しています。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	24時間訪問看護との緊急連絡体制を整え、週1回の訪問を実施しています。訪問の際入所者の健康状態の報告をし情報を共有しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院した際はご家族と共に医療機関の相談員と連絡を取り合い情報交換をしています。可能であれば面会時に医師や看護師から話を伺い、早期退院支援に努めています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時にご家族、ご本人に重度化や終末期に向けた方針の確認をしています。入所者の状態変化があるごとにご家族や医師と話し合いをしています。必要時には終末期の方針をご本人、ご家族と再確認しています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	利用者の急変や事故発生時には職員が初期対応の応急手当を行うようにし、隣接する訪問看護ステーションと連携をとるようにしています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防災避難訓練を消防署の協力のもと実施しています。町内、市の防災訓練にも参加できるように努めていきます。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	状況に応じた声掛けや対応を行うようにしています。何かあった際はその都度職員で話し合いをしています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中で入所者が話しやすい関係性を築いたり、雰囲気を作るよう心掛けています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入所者が穏やかに生活ができるよう支援しています。利用者同士の交流も大切にしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	2か月に1回訪問理美容に来ていただいています。ご本人、ご家族の希望で行きつけの美容院に行かれる方もいます。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	外食レクができていないため入所者に食べたいものアンケートを聞き取り、ラーメン・甘いパンなどのリクエストがあり提供し喜ばれています。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量・水分摂取量は毎日記録に残しています。食形態も入所者一人ひとりに合わせて提供しています。水分量が少ない方には声掛けをしたり、時間をあけて提供したり工夫をしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に口腔ケアを行っています。自己にてできる方は見守り、できない方は介助にて行っています。毎週火曜日に歯科医師と口腔衛生士が訪問歯科で来ていただいています。その際相談もできるようにしています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表で排泄パターンを把握し、トイレの声掛けを行っています。排便がない時は医師の指示のもと下剤を服用し便秘にならないようにしています。訪問看護師にも相談しながら行っています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分量の把握をし水分不足にならないよう気を付けています。あまり飲みたがらない入所者にはスポーツドリンクなど飲み物を変えて飲んでいただくようにしています。フルーツなども定期的に提供するようにしています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴は週2回と決まった曜日にして習慣になるようにしています。26日をお風呂の日とし入浴剤を入れ気分転換を図れるようにしています。温泉観光地の入浴剤で昔の思い出話をしてくれています。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中に体を動かしたりして夜安眠できるようにしています。その日の温度によって部屋の室温調整をしています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の目的・副作用・用法・容量は職員がすぐに閲覧し確認できるようにしています。薬の変更時には薬局が詳しく説明をしてくれています。分からないことがあれば薬剤師に連絡をし確認するようにしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご本人、ご家族から希望を聞き、一人ひとりに合わせた支援を行えるよう努めています。週刊誌を希望の方にはご家族から送っていただいたり、定期的に購入をしています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	普段は外の花に水やりをしたり、外気浴をしたり屋外に出れるよう支援しています。ご家族やご友人の方の協力もあり定期的に外食されたり買い物に行かれたりしています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現金は事務所で預からせていただいています。希望時、必要時にはすぐに使えるようにしています。不安になってしまう方にはお財布に少し入れて持っています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族へ電話したいという方には対応をしています。ご友人へお手紙を書かれる方もいるので、その時は入所者ご本人に便箋を選んでもらい対応しています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間は不快な思いをさせないよう朝・夕と2回掃除を行い清潔に過ごせるようにしています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	入所者同士の相性も考慮して決まった席を確保しています。必要に応じて席替えも行っています。居心地のいい環境作りを心掛けています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時にご家族と一緒にベッドや家具の配置をしています。使い慣れた物やアルバムや写真も持参していただいています。何かあればその都度家具の配置などは変更しています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	環境整備に気をつけできる限り自立した生活が送れるよう支援しています。		